CDTV100.book -1 ページ ２００６年１２月１４日 木曜日 午前８時５８分

HITACHI
Inspire the Next

地上デジタルチューナーユニット
取扱説明書

マニュアルはよく読み、保管してください。

■製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

■このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

製品の信頼性について

ご購入いただきました製品は、家庭用、あるいは、一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、弊社は一切責任を負いません。
家庭用一般事務用パソコンが不適当な、高信頼性を必要とする用途例
・ 化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御など

規制への適合について

● **電波障害自主規制について**

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● **輸出規制について**

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。この装置に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いになります。なお、ご不明な場合は、弊社「お問い合わせ先」にお問い合わせください。

はじめに

このたびは日立のシステム装置（以下、パソコン）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品は、パソコンに接続して地上デジタル放送を受信し、視聴･録画再生を可能にするための拡張ユニットです。
このマニュアルをよくお読みになり、正しくご使用ください。また、接続するパソコンに付属のマニュアル（制限事項を含む）もあわせてお読みください。

マニュアルの表記

■ マークについて

マニュアルの中で使用している、マークの意味を説明します。

重要　重要事項や使用上の制限事項を示します。

ヒント　本製品を活用するためのヒントやアドバイスです。

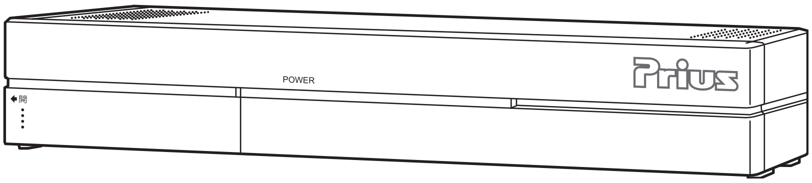
参照　参照先を示します。

CDTV100.book ２ ページ ２００６年１２月１４日 木曜日 午前８時５８分

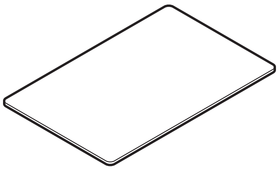
ご確認いただくこと

ご使用になる前に、次の点をご確認ください。
もし、不具合があるときは、お買い求め先にご連絡ください。

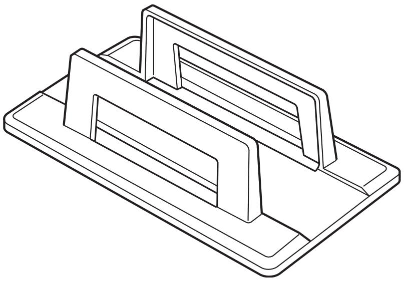
- **形式が注文どおりのものであるか？**
- **輸送中に破損したところはないか？**
- **次の構成品が同梱されているか？**
  - ・取扱説明書 (本書)
  - ・地上デジタルチューナーユニット



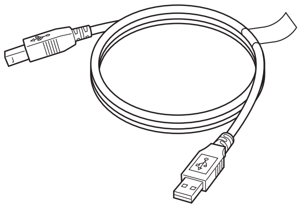
・地上デジタル放送用 B-CAS カード



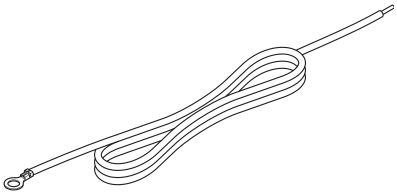
・スタンド



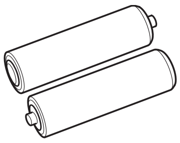
・USB2.0I/F ケーブル



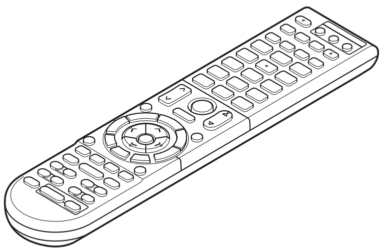
・アース線



・リモコン用単三乾電池



・リモコン



お問い合わせ先

パソコンに付属のマニュアル『Prius 取扱説明書 - サポート & サービス編 -』の「３章サポート&サービス」をご覧ください。

もくじ

はじめに 1
マニュアルの表記 1
ご確認いただくこと 2
お問い合わせ先 2
もくじ 3
安全にお使いいただくために 5
地上デジタルチューナーユニットの概要 12
本製品の特長 12
お取り扱い 13
日頃のお手入れ 13
ご使用上の注意事項 13
各部の名称 14
前面 / 背面 14
パソコンとの接続 16
設置場所 16
接続方法 18
ほかの機器と接続する 21
電源スイッチ・電源ランプ 22
ハード技術情報 23
仕様 23
有寿命部品一覧 24
故障かな？と思ったら 25
考えられる原因と対策 25
制限事項 26
アフターケアについて 27
保証書について 27
修理サービスについて 27

CDTV100.book 4 ページ ２００６年１２月１４日 木曜日 午前８時５８分

安全にお使いいただくために

● 安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
・操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
・装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

● シンボルについて

安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。

これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。

⚠警告　これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。

⚠注意　これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

注意　これは、装置の重大な損傷、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

【表記例１】感電注意

△の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。

【表記例２】分解禁止

⃠の図記号は行ってはいけないことを示し、⃠の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。

【表記例３】電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

● 操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡ください。

● 自分自身でもご注意を

装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

警告

異常な熱さ、煙、異常音、異臭

万一異常が発生した場合は、電源スイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

修理・改造・分解

自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。特に裏ぶたやカバーを外したりしないでください。

付属品の使用

各ケーブルは、必ず付属または指定のものをご使用ください。それ以外のものを使用すると、電圧、最大出力電流や＋－の極性が異なっていることがあるため、火災の原因になります。

通気孔

・ 通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。
　また、通気孔をふさいでしまうラックなどへの設置はしないでください。
　内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。
・ 本装置を傾けて固定するラックなどには、設置しないでください。
　通気孔を通る空気の流れが変わるため、内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。

参照　関連ページ→「設置場所」(P.16)

装置内部への異物の混入

通気孔などから内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

ケースカバーの取り外し

ケースカバーを取り外さないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

揮発性液体の近くでの使用

マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、本装置の近くで使わないでください。本装置の中に入って引火すると火災の原因になります。

装置上に物を置く

花びん、植木鉢など水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属物を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると、感電や発煙、発火の原因になります。

電源コードの扱い

電源コードは、次のことに注意してお取り扱いください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したり、ショートや一部断線で過熱して、感電や火災の原因になります。

・ ものを載せない
・ 引っ張らない
・ 押しつけない
・ 折り曲げない
・ 加工しない
・ 熱器具のそばで使わない
・ 束ねない

テレビアンテナ線への接続と使用

・ 雷が鳴っているときは、パソコンの使用、テレビアンテナ線の接続および電話線への接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

⚠警告

電源プラグの抜き差し

- 電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。
- 休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜くか、電源スイッチを切にしてください。万一、部品破損時には火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。

参照 関連ページ→「接続方法」（P.18）

本装置の移動

電源プラグなどの外部の接続線をつないだまま移動させないでください。火災、感電、けがの原因となることがあります。

電源プラグなどの接触不良やトラッキング

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

- 電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。
- 電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は、乾いた布などで拭き取り、差し込んでください。
- グラグラしないコンセントを使ってください。

参照 関連ページ→「接続方法」（P.18）

落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけるなど過大な衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

使用する電源

使用できる電源は交流 100 V です。それ以外の電圧では使用しないでください。電圧の大きさに従って内部が破損したり、過熱・劣化して感電や火災の原因になります。

日本国以外の使用

本装置は日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており本装置は適合していません。

タコ足配線

同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。

参照 関連ページ→「接続方法」（P.18）

湿気やほこりの多い場所での使用

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機、加湿器のそばなど、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所で使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。本体内部にほこりが溜ることによって、精密部品の冷却を妨げ、故障ややけどの原因になります。

参照 関連ページ→「設置場所」（P.16）

温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、発火や感電の原因となります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。

警告

接続端子への接続

接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。金属片のある場所に置かないでください。発煙したり接触不良などにより故障の原因になります。

梱包用ポリ袋について

本装置の梱包用エアキャップなどのポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息するおそれがあります。

アース線について

感電防止のため、アース線を専門の電気技術者が施工したアース端子に接続してください。接続しないと万一の漏電時に感電の原因となります。

- 接地作業は本体の電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
- アース線は添付したもの以外は使用しないでください。
- アース線は確実にアースがとれる箇所に接続してください。ガス管などは危険なため、絶対に接続しないでください。

参照 関連ページ→「接続方法」(P.18)

⚠注意

不安定な場所などでの使用
傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

参照 関連ページ→「設置場所」(P.16)

目的以外の使用
踏み台やブックエンドなど、本装置本来の目的以外に使用しないでください。壊れたり、倒れたりし、けがや故障の原因になります。

各ケーブル・電源コードについて
- ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください。足をひっかけると、けがや接続機器の故障の原因になります。
- ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。

瞬時電圧低下
本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

注意

本装置の廃棄

本装置を廃棄する場合は、適正なリサイクル処理をお願いします。
「資源の有効な利用の促進に関する法律（通称）：改正リサイクル法」にもとづき、本装置の製造事業者である弊社は、お客様のご依頼にもとづく事業者（法人所有）向けの回収リサイクルサービスと、ご家庭（個人所有）向けのリサイクルサービスを提供しています。当該サービスでは回収リサイクルの効果を向上させるなど、法律の趣旨に的確に対応していますので、ご利用ください。

参照 関連ページ→パソコンに付属の取扱説明書

設置場所について

・高温にならない所へ設置してください。
・直射日光のあたる場所、ストーブのような熱器具の近くに置くと、故障の原因になります。
・油煙や腐食性ガスの発生する場所、振動が継続する場所に置くと、故障の原因になります。

参照 関連ページ→「設置場所」（P.16）

電波障害について

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。
その場合は、次のようにしてください。
・テレビやラジオなどからできるだけ離す。
・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
・コンセントを別にする。

屋外での使用

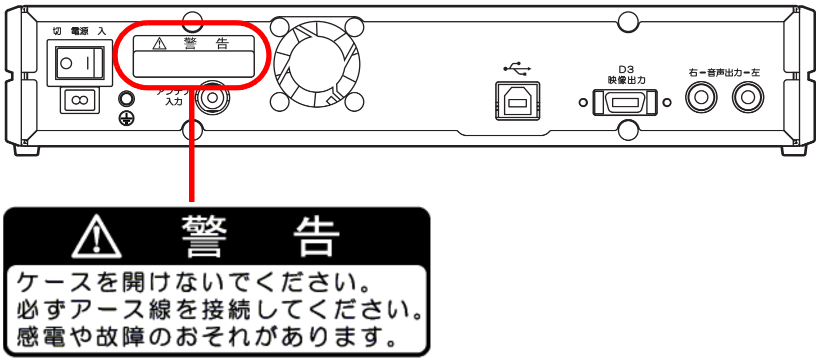
屋外では使用しないでください。
故障の原因になります。

CDTV100.book 11 ページ ２００６年１２月１４日 木曜日 午前８時５８分

● 警告ラベル

警告ラベルは、次に示す部分に表示してあります。

■ 装置本体



地上デジタルチューナーユニットの概要

本製品の特長

次の特長があります。

■ 地上デジタル放送の視聴が可能

■ D 端子によりハイビジョン映像出力が可能

■ デジタルハイビジョン番組を SD 解像度で録画保存・再生可能

重要

・ 録画保存したものは D 端子からは見ることができません。

■ データ放送に対応

■ 電子番組表 (EPG) に対応

■ リアルタイムトランスレート処理により、長時間録画に対応

録画画質を 4 種類 (XP モード、SP モード、LP+ モード、LP モード) から選択可能

■ 録画コンテンツの DVD-RAM/-RW への高速ムーブに対応

■ 録画コンテンツのサムネイル表示可能

■ いいとこ観サポート

■ インターネットからのソフトウェアアップデートが可能 (ダウンロード機能)

お取り扱い

日頃のお手入れ

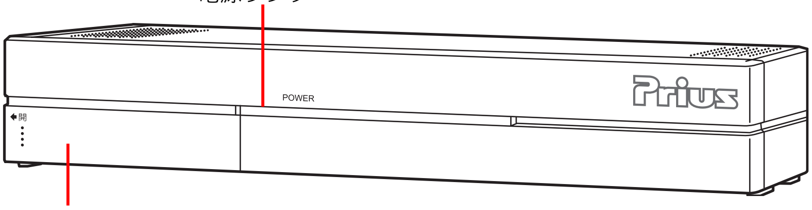
- 日頃のお手入れは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 本装置に付いたほこりは、掃除機や乾いた布で取り除いてください。汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどいときや油による汚れは、水や中性洗剤に浸して固く絞った布で軽くふき取ってください。水や洗剤が内部に入ると故障の原因となります。
  特に、次の洗剤などは塗装を痛めますので使用しないでください。
  ・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類など
- ベンジンやシンナーなどの薬品を使ったり、殺虫剤をかけると、変形または変色することがあります。
- ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。

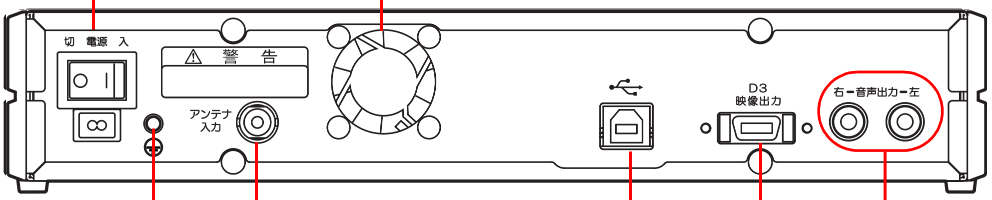
ご使用上の注意事項

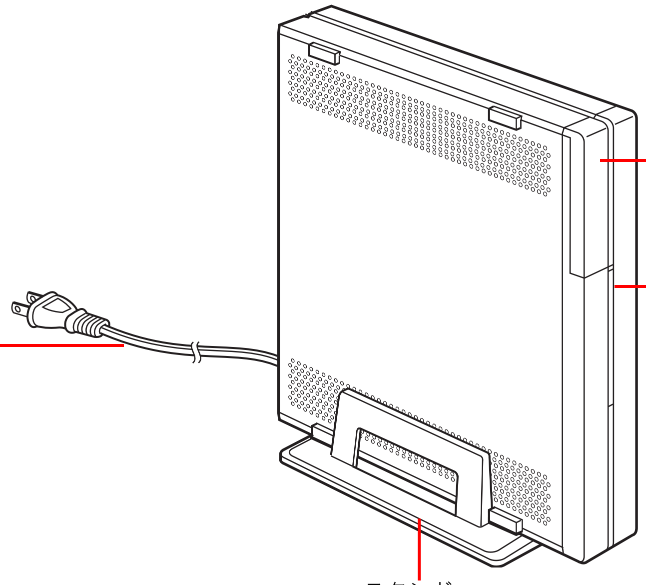
- 本製品は同梱のパソコン本体との組み合わせのみでご使用ください。誤って他の製品でご使用されますと、同梱のパソコン本体で動作させることができなくなる場合があります。また、他のパソコンとの組み合わせでの動作は保証いたしません。
- パソコンを使用しない時や、録画予約などをしない時は、電源を OFF し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 録画予約をされた場合は、電源を ON にしておいてください。もし、電源 OFF された状態や USB ケーブルが外されている場合、予約録画ができなくなります。
- 本製品は付属の USB ケーブルで、パソコン本体に接続してください。他の USB ケーブル、延長ケーブル、USB ハブを介しての接続については、動作保証いたしません。
- 地上デジタルチューナーから出る音声 / 映像と、ノート型パソコンから出力される音声 / 映像にはずれがあります。D 端子映像出力を見る時は、ノートパソコンの音声をミュートにして、地上デジタルチューナーユニットから出力される音声を聞いてください。

各部の名称

前面 / 背面


電源ランプ
POWER
Prius
開
B-CAS カードスロット


電源スイッチ
冷却ファン
切 電源 入
警 告
アンテナ
入力
D3
映像出力
右ー音声出力ー左
アンテナ端子
アース端子
D3 映像出力端子
USB コネクター
アナログ音声出力端子


B-CAS カードスロット
電源ランプ
電源コード
スタンド

名称	内容
電源スイッチ	電源の ON/OFF ができます。
電源ランプ	ランプの動作により、本製品の状態を確認できます。
B-CAS カードスロット	B-CAS カードを挿入します。
アース端子	アース線を接続します。
アンテナ端子	アンテナケーブルを接続します。
USB コネクター	USB ケーブルを接続します。
D3 映像出力端子	D 端子ケーブルを接続します。
アナログ音声出力端子	音声出力ケーブルを接続します。

参照 電源ランプについて→「電源スイッチ・電源ランプ」（P.22）
参照 接続方法について→「接続方法」（P.18）

パソコンとの接続

設置場所

⚠ 警告

- 浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機、加湿器のそばなど、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所で使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。本体内部にほこりが溜ることによって、精密部品の冷却を妨げ、故障ややけどの原因になります。
- 通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。また、通気孔をふさいでしまうラックなどへの設置はしないでください。内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。

⚠ 注意

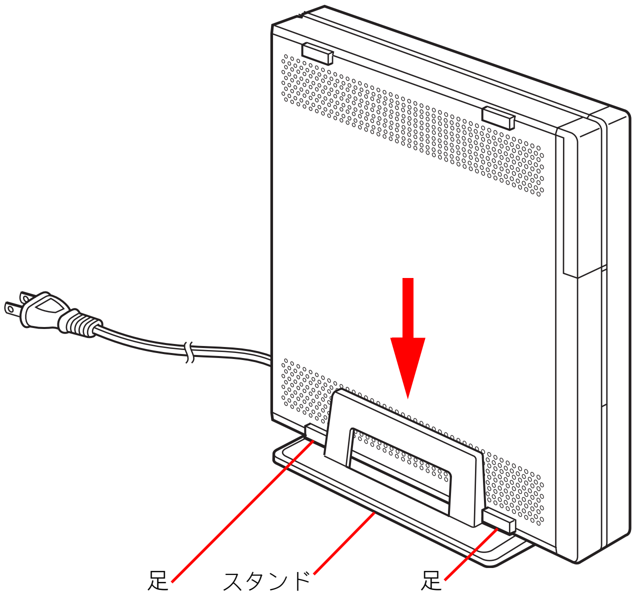
- 傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。
  落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

注意

- 高温にならない所へ設置してください。
  直射日光のあたる場所、ストーブのような熱器具の近くに置くと、故障の原因になります。
- 油煙や腐食性ガスの発生しない所、振動のない所に設置してください。
  油煙や腐食性ガスの発生する場所、振動が継続する場所に置くと、故障の原因になります。

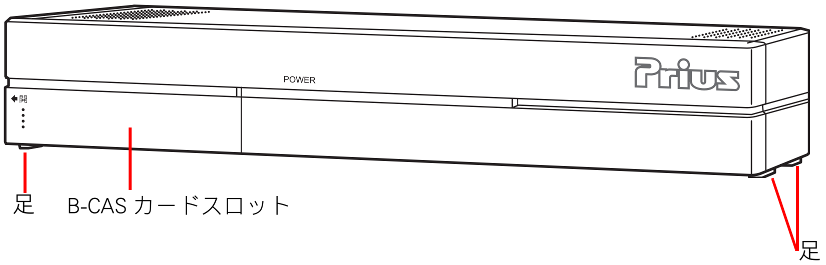
縦置きで使用する場合

本装置を縦置きで使用する場合は、B-CAS カードスロットを上側にして、本体下面の足の間にスタンドが入るよう、矢印方向にゆっくりとスタンドに差し込んでください。



横置きで使用する場合

本装置を横置きで使用する場合は、B-CAS カードスロットと足を下側にして、横向きに置いてください。



接続方法

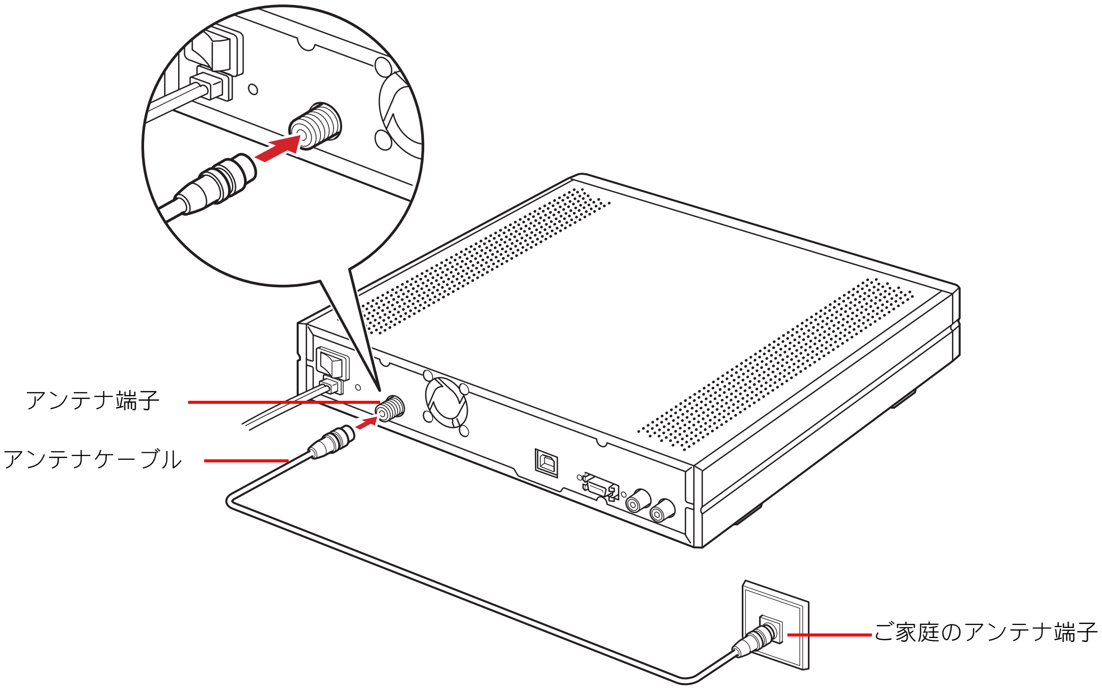
接続時は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源スイッチの位置については「各部の名称」をご参照ください。
本装置に接続する機器についても、電源が切れていることをご確認ください。
パソコンとの接続時は、パソコンに付属のマニュアルもご参照ください。

アンテナ・USB ケーブル・B-CAS カード・アース線・電源コードの接続

1 **電源ランプが消えていることを確認する。**

2 **本体のアンテナ端子にアンテナケーブルを差し込む。**

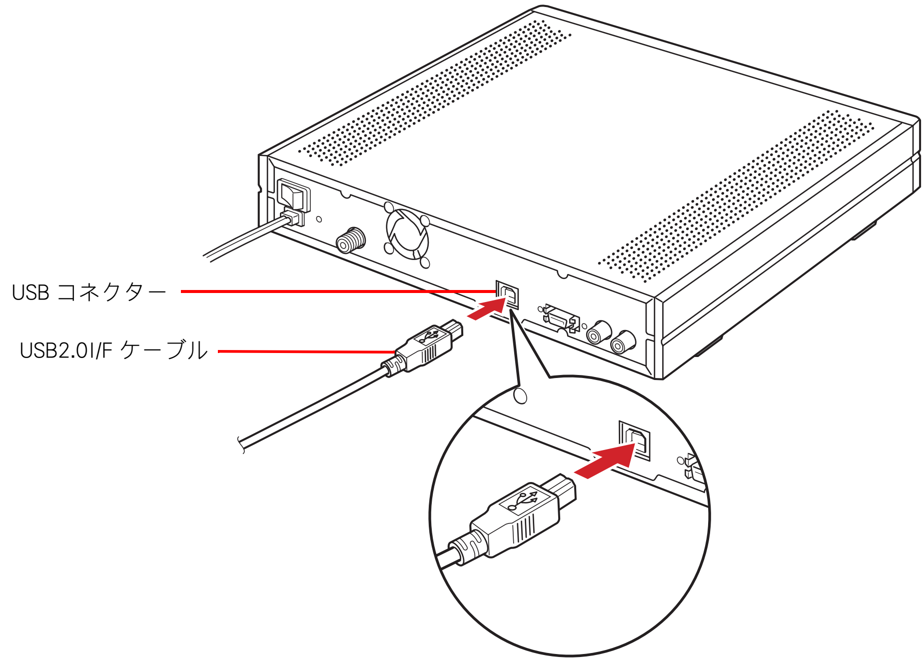
3 **アンテナケーブルのもう一方を、ご家庭のアンテナ端子に差し込む。**



⚠ 警告

・ 雷が鳴っているときは、テレビアンテナ線の接続および電話線への接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

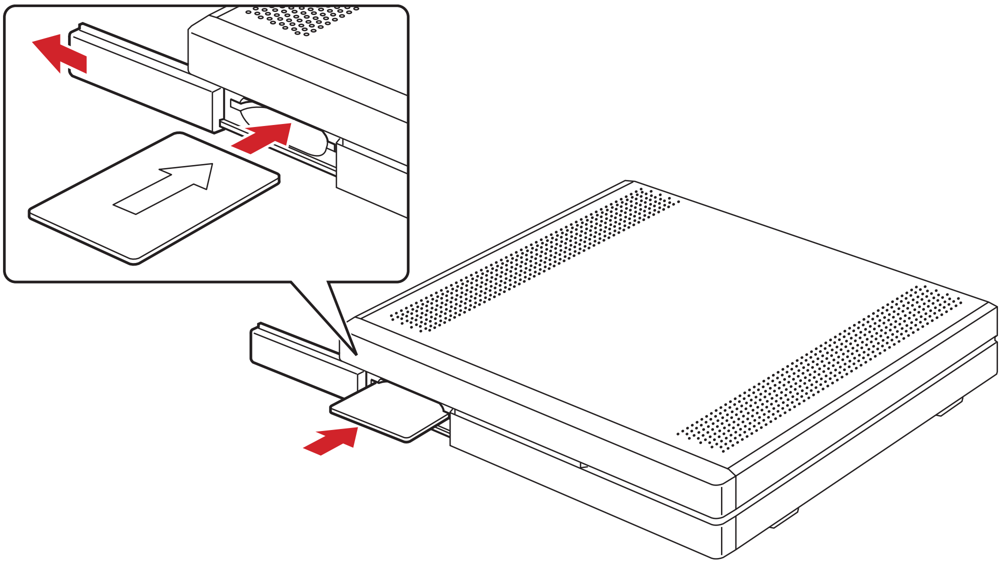
4 本体の USB コネクターに USB ケーブルを差し込む。



重要

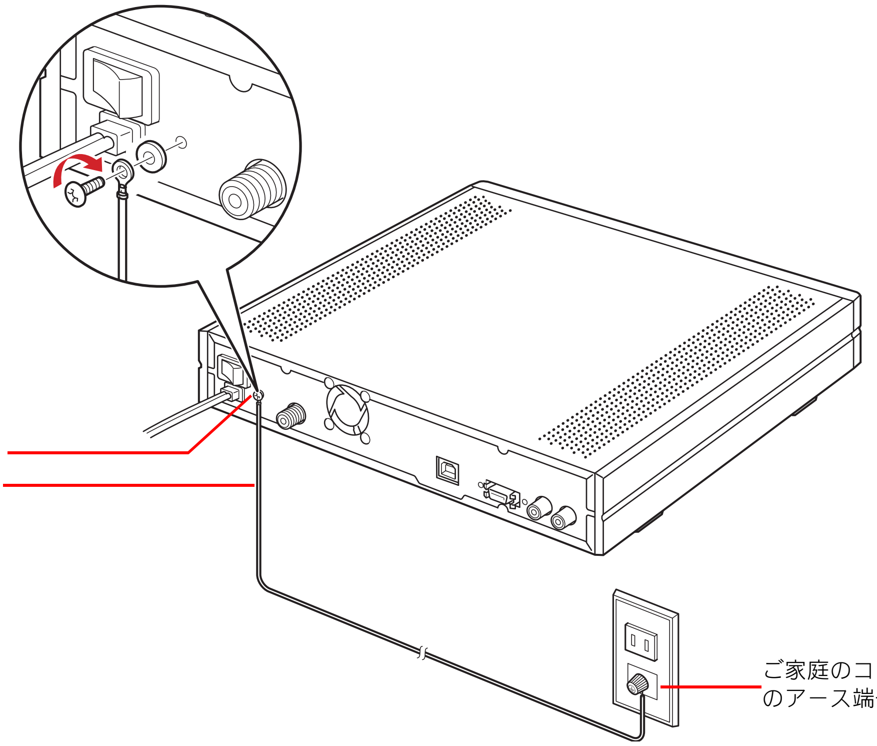
・USB ケーブルはコネクターの向きが決まっているため、向きに注意し、奥までしっかり差し込み接続してください。
・各ケーブルは、必ず付属のものをご使用ください。
・パソコンとの接続は、パソコンに付属のマニュアルをご参照ください。

5 B-CAS カードスロットのふたを矢印方向にスライドさせ、B-CAS カードを挿入する。



6 **付属のアース線をアース端子に接続する。**

7 **アース線のもう一方を、ご家庭のコンセントのアース端子に接続する。**



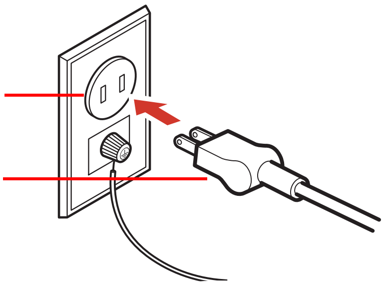
⚠ 警告

- アース線について
  感電防止のため、アース線を専門の電気技術者が施工したアース端子に接続してください。接続しないと万一の漏電時に感電の原因となります。
  - 本（接地）作業は本体の電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
  - アース線は添付したもの以外は使用しないでください。
  - アース線は確実にアースがとれる箇所に接続してください。ガス管などには危険ですので絶対に接続しないでください。

重 要

- 安全のためアース線がついています。電源コードのプラグをコンセントに差し込む前に必ずアース線を接続してください。
- アース線を接続する際は、上の図のように、ネジにアース線、ワッシャーの順番で差し込んで、本体にネジ留めしてください。ワッシャーを挟まないでネジ留めしてしまうと、ネジが緩んで外れる可能性があります。

8 **電源コードの電源プラグを、コンセントに差し込む。**



⚠警告

- 電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。
- 休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因となります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。
- 電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。
  - ・電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。
  - ・電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は、乾いた布などで拭き取り、差し込んでください。
  - ・グラグラしないコンセントを使ってください。
- 同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。

9 電源スイッチを ON にする。

10 USB ケーブルをパソコンに接続する。

ヒント

・テレビの見かたについては、パソコンに付属のマニュアル『プリウスナビを楽しもう !』をご参照ください。

ほかの機器と接続する

D 端子ケーブルや音声ケーブルをディスプレイなどの外部機器に接続し、地上デジタル放送を表示させることができます。外部機器の各部名称や操作については、外部機器に付属のマニュアルをご参照ください。

重要

- 接続の際は必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に接続してください。
- D 端子ケーブルはコネクターの向きが決まっているため、向きに注意し、奥までしっかり差し込み接続してください。
- D 端子ケーブルを接続するときは、コネクター左右のロックがカチッと音がするまでしっかり差し込んでください。

  ヒント

  ・D 端子ケーブルは市販品をご使用ください。
- 著作権保護された映像を本装置の D 端子から VTR などの録画機器に出力しても、著作権保護機能により、正しく録画できません。パソコンの録画機能をご使用ください。また、本装置の D 端子より VTR などの録画機器を介してモニターへ映像を出力した場合、同著作権保護機能により画質が劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。本装置の D 端子とモニターを直接接続しご使用ください。

電源スイッチ・電源ランプ

● **電源スイッチ**

本体裏側の電源スイッチにより、電源の入 / 切を行うことができます。

● **電源ランプ**

ランプの発色で本装置の動作状態を確認できます。

本製品の状態	電源ランプの状態	備考
電源 ON 時または待機時	オレンジに点灯	電源が入っている状態。
動作時	グリーンに点灯	本製品が動作している状態。
電源 OFF 時	消灯	電源スイッチが切れている状態。

⚠警告

・休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、必ず電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。万一、部品破損時には火災の原因になります。

重要

・電源を切ったあと再び電源を入れる場合は、30 秒以上空けてください。

ハード技術情報

仕様

製品名 (形名)		地上デジタルチューナーユニット (CDTV100)
外部インタフェース		UHF 入力端子 (高調波同軸 C12 コネクタ相当) B-CAS Card スロット (蓋付) USB2.0I/F(付属 USB ケーブル使用) D3 映像出力端子 (EIAJ5237) アナログ音声出力端子 (RCA 赤･白)
電源 / 動作 LED		電源 ON 時 / 待機時 : オレンジ点灯、動作時 : グリーン点灯
設置		横置き、縦置き (付属スタンド使用) 可
環境条件	(動作時)	温度：5 ～ 35 ℃ 湿度：20 ～ 80%Rh 以下 （結露しないこと)
	(非動作時)	温度：-10 ～ 60 ℃ 湿度：10 ～ 85%Rh 以下 （結露しないこと)
電源		AC 100V 50/60 Hz (電源内蔵)
消費電力		定常時 ：約 16.4W 待機時 ：約 3.7W
寸法		約 260(W) × 240(D) × 45(H)mm(突起部および脚部は含まず)
質量		約 2.1kg(ケーブル含まず)

有寿命部品一覧

本製品の部品は、長期間使用しているうちに劣化、磨耗します。次の部品は、一定周期で交換の必要があります。
ここで記載の寿命とは設計構造上の想定寿命であり、寿命を保証するものではありません。想定寿命を満たさない場合でも、無償修理期間を過ぎている場合の部品代は有償です。
購入や交換については、お買い求め先にご連絡ください。なお、交換した部品は、ご購入時の部品と、仕様が異なる場合があります。

品名	寿命
基板、電源ユニット	＊1、＊2
ファンユニット	＊1

＊1 ：事務室で 1 日に 8 時間、1 カ月で 25 日間、通常に使用すると想定した場合、寿命は約 5 年です。
したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。
＊2 ：使用しているアルミ電解コンデンサーは寿命のある部品です。

故障かな？と思ったら

考えられる原因と対策

ご使用の際、不具合が生じた場合、次の項目をチェックしてください。

●全般

症状	考えられる原因	対処方法
電源ランプが点灯しない	電源プラグはコンセントに接続されていますか？	電源プラグを接続してください。
	電源スイッチは入っていますか？	電源スイッチを押し、電源を入れてください。

● D 端子出力

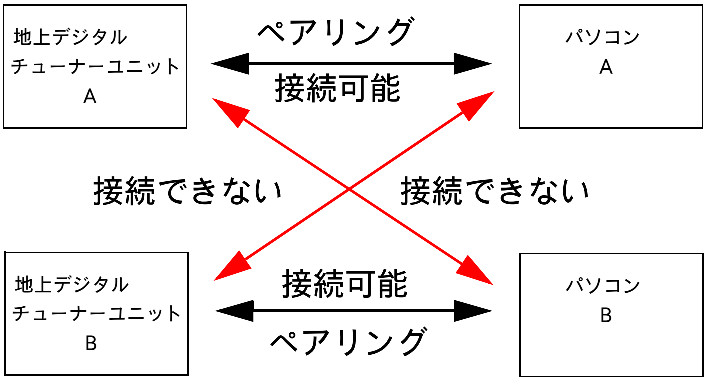
症状	考えられる原因	対処方法
青い画面が表示される	接続機器の電源スイッチは ON になっていますか？	接続機器の電源スイッチを ON にしてください。
	D 端子ケーブルが正しく接続されていますか？	D 端子ケーブルを正しく接続してください。

● PriusNaviStation が起動しない場合

・ 地上デジタルチューナーユニットの電源をオフにして、パソコンから USB ケーブルを抜いてください。その後、地上デジタルチューナーユニットの電源をオンにして、USB ケーブルを再び、パソコンに差し込んでください。

制限事項

地上デジタルチューナーユニットは、最初に接続されたパソコンとペアリング設定され、他のパソコンでは動作しません。同様に、一度ペアリング設定されたパソコンは、他のデジタルチューナーユニットを接続しても動作しません。
このため、故障などで修理依頼する場合は、必ずパソコンとセットでご依頼ください。



●「Prius Navistation」に関するご注意

・CATV の受信で、スクランブルのかかった放送の視聴・録画はできません。詳しくはご利用となる CATV 会社へお問い合わせください。
・著作権保護の信号が入った映像は録画することはできません。視聴においても映像が乱れることがあります。
・BS・CS などの衛星放送は、本パソコンの内蔵チューナーでは受信できません。

●地上デジタル放送に関するご注意

・地上デジタル放送をご覧になるためには、アンテナを地上デジタル放送局に向ける必要があります。アンテナによっては買い替えが必要な場合もあります。
・地上デジタル放送のエリア内であっても、地形や遮蔽物などにより、受信できない場合があります。
・CATV パススルー方式（同一周波数方式、周波数変換方式）に対応しています。詳細については、お使いの CATV 業者にお問い合わせください。
・パソコンを修理する場合、故障内容によっては、パソコンに保存した地上デジタル放送のデータが再生できなくなります。ご了承ください。
・専用モニタ出力端子を使用して、D 端子 (D3 以上) があるご家庭のテレビと接続することができます。ただし、すべてのテレビで動作を保証するものではありません。

アフターケアについて

ここでは、本製品を購入されたあとに受けられるアフターケアについて説明します。

参照
・「Prius 集中修理センター」へのお問い合わせについて→パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

保証書について

保証書は、パソコン本体に添付の保証書をご使用ください。
ご購入の際に、所定事項が記入されたものをお受け取りになり、大切に保管しておいてください。
保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容に基づいて無料で修理いたします。
詳しくは、保証書をご覧ください。保証期間終了後の修理については、「Prius 集中修理センター」へお問い合わせください。

修理サービスについて

保守サービスをお受けになる際は、必ずパソコンとセットでご依頼ください。

参照 関連ページ→「故障かな？と思ったら」（P.25）

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

本装置は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されることになっています。改造または分解は禁止されています。
その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

地上デジタルチューナーユニット取扱説明書

第 2 版　2006 年 12 月

無断転載を禁止します。

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

株式会社　日立製作所
ユビキタスシステム事業部

〒 244-0817　神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地
お問い合わせ先：安心コールセンター　:　0120-885-596

© Hitachi,Ltd.2006.All rights reserved.